

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標	
(1) 子ども一人ひとりが安心して、自分らしさを発揮し、互いを認め合う学校をつくります。 (2) 子どもの主体性を引き出し、自分で学習や生活をつくり高めていく子を育てます。 (3) 教職員の指導力を高め、チームとして子どもたちを育てます。 (4) 学校運営協議会を基盤として、学校・保護者・地域が連携し、信頼関係に基づかれた開かれた学校をつくります。	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		① 「なかよし活動」の在り方を工夫して異学年交流を図る。 ② 委員会活動等、子ども主体の生活づくりを進める。 ③ 年間を通して「心も体もびょうき0プロジェクト」を推進し、自他を尊重する態度を育成する。
担当	児童支援部会	④ 地域や社会と関わる機会を捉え体験を通して多様な人々への共感を育む。(状況に応じた活動の在り方の工夫) ⑤ 子どもたちの課題に即した道徳授業に取り組む。

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

本校の児童は、全体的に落ち着いて穏やかに生活しています。また、何事にも一生懸命に取り組む姿勢がみられます。地域からの協力も得られており、子どもたちも地域の行事には積極的です。

しかし、次の点が課題として挙げられます。

自分に対する課題としては、「自分からすすんであいさつをすること」や、「自分に自信がなく自分の考えを積極的に話すこと」に苦手意識をもっています。

他者に対する課題としては、人の話をすすんで聞いたり、学校のきまりを守って生活することができなかつたりする傾向がみられます。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【道徳教育】行事や各教科とも連携した道徳教育の創造

- ・全学級の道徳公開授業を年1回以上実施します。
- ・行事や学級・学年活動・各教科の学習との関連を測りながら、子どもたちが自分の生活に立ち返って、互いに考えを深め合えることができるようにします。

【自分づくり教育】主体的な生活づくり

- ・「けが0プロジェクト」を核として委員会活動を活性化させ、委員会の提案より学校全体が取り組みます。
- ・「なかよし活動」や「クラブ活動」など6年生をリーダーとした異年齢集団活動をより自主的、意欲的にを行い、自分たちの手で学校生活をつくる実感がもてるようにします。
- ・一人ひとりが見通しをもつことで安心して自分らしさを発揮し、自分をよりよく高めていく力を育みます。
- ・子どもたちの興味・関心をもつものや切実感のあるものなど価値のある課題を設定し、PDCAサイクルで授業改善をはかります。

【人権教育と特別支援教育】確かな人権感覚・意識の育成

- ・Y-P アセスメントの支援検討会の実施により、学級の課題の改善や個人の課題の改善に向けて校内の指導体制を整え、教師が「だれもが安心して豊かに」過ごすことができる学級風土づくりへ向けた協働ができるようにします。
- ・必要な子どもに対して個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成します。
- ・一般学級の子どもは、授業や学校行事等で個別支援級の児童と一緒に過ごすことを通して、学び合いながら相互理解を深めていきます。

【様々な教育の場の連携】

- ・姉妹校（ムーニーポンズウエスト小学校やラドバーン小学校）と交流して、日本の伝統・文化を尊重するとともに、異文化への理解を深めるようにする。
- ・地域の行事等に子どもたちが参加できる等、子どもたちの自尊感情が育つようなかかわりを推進してもらうとともに、学校の教育活動にも積極的にかかわってもらうようにします。
- ・どの子にも分かりやすい生活環境を考え、支援の工夫を測り、子どもが自分で、困っていることや分からないことを相談できるようにします。関係機関との連携や保護者との協力体制を構築していきます。

4 各学年・教科等の具体的取組

【第1学年】

道徳…道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育むために、児童の実態や発達段階を考慮し、学習や学校行事等との関連を図りながら授業づくりに取り組む。体験的な学習の充実…「3つのつながり」を意識し、「授業」と「人」と「学びの場」もつなぐ学びをイメージしながら進める。第1学年という学齢期だからこそ感じられることを重視し、「頭と体を使って学ぶ」ことを大切に、国語科を柱にしなが、たくさんの「ひと・もの・こと」との出会いと関わりと感動を取り入れた学びをコーディネートする。

【第2学年】

道徳…児童の実態を把握し、各教科・学校行事との関連を図りながら授業づくりに取り組み、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。地域との関わり…生活科のまち探検や野菜作りなど、地域の様々な人と関わることを通して、自分の生き方をふり返ったり、感謝の気持ちをもって過ごしたりすることができるようにする。体験学習の充実…まちの人に触れる体験や、野菜を育てることを通して、それぞれの出会いや思いを大切に育てる。

【第3学年】

道徳…児童の実態や、各教科との関連、学校行事を見ながら、資料を精選して実践する。自分も友達も大切にできる温かい集団を育てる。体験学習の充実…植物・モンシロチョウを育てる体験を通して、生き物を大切に育てる。心情を育てる。「だれもが安心して豊かに」過ごすことができる学級づくり…Y-Pアセスメントなどを活用しながら、学級全体が楽しく安心して過ごせるような活動に取り組み、よりよい学級作りを行っていく。人権…ピグレットのお店・工場見学を通して、様々な人と関わることで、「だれもが安心して豊かに」過ごすことについて理解する。

【第4学年】

道徳…児童の実態を把握し、各教科・学校行事との関連を図りながら授業づくりに取り組み、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。野島宿泊体験学習…1人ひとりが見通しをもって自分の役割に責任をもつ。10歳を祝う会…1人ひとりが主体的に取り組み、学年でひとつのものを創りあげる達成感を味わえるようにする。アイビー…他教科を関連付け、SDGs 17の目標を意識しながら、社会の一員として関わっていく態度を育成する。クラブ活動…高学年をお手本にして、来年高考年として学校をひっぱっていくという主体性を育成する。

<p>【第5学年】 道徳教育の充実…友だちとの良好なコミュニケーションをとった関わり方によって自分も相手も楽しく、安心して学校生活を過ごすことができることを実感できるようにする。 確かな人権感覚・意識の育成…学年目標・学級目標の価値づけと共有をする。自分を律することで、全体がよりよくなることを実感し、主体的に自律的な行動ができる態度の育成を図る。学年目標の達成に向けて、互いにアイデアを出し合い、工夫した日常になるように学習を進める。</p>	<p>【第6学年】 日常の学習の中での取組…各教科、学校行事との関連を図りながら授業づくりに取り組み、今まで身に付けた力を踏まえて主体的に学習に臨む児童の育成を図る。 特別活動の教科…緑園東小学校のラストイヤーの最高学年として、自分の魅力を生かしながら委員会活動や係活動を新しく作り出したり、友達と協力したりして学校全体を盛り上げるように見通しをもたせる。 異年齢集団との関わりの充実…「1年生サポート」「なかよしタイム」「バトンタッチの会」を通して、低学年との関わり方やグループの導き方を体験できるようにする。</p>
<p>【個別支援級】 体験学習の充実…体験的な活動を通じて、集団の中での自分の役割を果たすことや、規律を守ることなどの社会性や実践力を身に付けていくようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 日々の生活の中から自分たちの課題となる事柄について考える機会をもち、よりよい自分やクラスの姿について考える。 (2) 定期的に自分たちで企画・運営をする誕生日会などの集会活動を開き、お互いの成長を喜び合うと共に、仲間意識を深めるようにする。 (3) 学区のお店や公共施設を利用したりして、進んで地域に出て社会生活を体験する。 (4) Y-P アセスメントなどをもとに教育支援計画を立て、個々の自尊感情を高められるような学習設定を工夫する。 (5) レインボーの学習や行事などでいろいろな人と交流することで望ましい他者との関わり方を身に付けるようにする。 (6) YICA で特にあいさつや言葉やジェスチャーでのやりとりを大切にし、異文化への理解と親しみをもつ。 (7) 読み聞かせを通して豊かな情操を育む。 (8) 栽培活動を通して、自然の大切さや自然への感謝の気持ちを醸成するとともに、収穫した作物を家庭に持ち帰って食したり、学校でも模擬販売をしたりして家庭や学校内の方々とより良い関係を築く。 	
<p>音楽科 豊かな感性や情操の育成 音楽は、自己の思いや気持ち、感情を音や音楽を通して表出し、他の人間に伝達するという特性をもっている。このような特性を基盤に置き、想像的に表現する力、美しさに感動する心、他と共感する心を培い、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力の育成を図る。</p> <p>〈今月の歌〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月のねらいを考えて全校児童が歌いやすい楽曲を選曲し、子ども達が歌に親しみをもてるようにする。毎日、朝の会などで各学級から歌や歌声が流れることでみんなが同じ歌を歌っているという一体感をもてるようにするとともに、音楽が心を豊かにすることを感ぜられるようにする。 	
<p>家庭科 体験学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を充分行った上で、製作や調理などの実践的・体験的な活動を行い、実感を伴って理解する学習を工夫する。また、学習の中で習得した知識や技能を、実生活に生かせるよう実践を踏まえた学習活動を設定する。 <p>豊かな感性や情操の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実生活と照らし合わせて学習を進め、児童の生活体験や発想を生かし、家庭生活の中の課題を解決する能力や家庭生活の大切さ、家族を思う心情を育てる。 	

算数少人数

自分の考えや気付きを伝え合う場面を大切に、そこでの学び合いの姿を重視する。自分や仲間が数学的に表現・処理したことを振り返り、そこにあるよさや違いを話し合うことで、数学的な考え方が広がるようにする。また、表現活動の中で、自分の考えとは異なる方法を受けとめたり、お互いの長所・短所に目を向けたり、表面上（発声・書字・話型等）だけでは伝わりにくい、相手の個性を受け取ろうとする姿勢を培えるようにする。

保健

けが（びょうき）0プロジェクトを中心に、児童主体の豊かな心づくりと健康な体づくりの活性化を図る。学校保健委員会のテーマを児童保健委員会から全校に向けて発信する。それを受けて、各クラスでは、具体的な取り組みを考える。代表委員会では、それぞれの各委員会で協力できる取り組みを考え、11月の委員会で各委員会の取り組みを決定する。

〈緑園子ども会議（学校保健委員会）〉

学校保健委員会に向けて、けが（びょうき）0プロジェクトの取り組みを人権週間とも関連づけ、運営委員会と連携して取り組みをすすめていく。緑園子ども会議は、全体でのふりかえりの機会とする。

給食

けが0プロジェクトを核として、学校保健委員会の内容と給食をからめたり、SDGsをもとに食の大切さを知らせたりして食品ロスの削減に向けて取り組む。

今年度は給食からお弁当になることから、家庭と連携して食育を推進していく。